

## 中国吉林省の一幹部病棟における高齢患者の現状

ソ ン ヨウ カナガワ カツコ オオキ シュウイチ  
孫 皎\* 金川 克子<sup>2\*</sup> 大木 秀一<sup>2\*</sup>

**目的** 中国では近年、人口の高齢化、医療費の高騰が急速に進んでいる。中国共産党を引退した幹部が入院する幹部病棟の高齢患者は様々な優遇策を受けており、一般病棟と比較して在院日数が長く、再入院も多く、医療費高騰の一因となっていると考えられている。しかし、その実態は不明である。幹部病棟入院高齢患者の実態把握と退院に向けてのニーズ調査を通して幹部病棟問題解決に向けての提言をすることを目的とした。

**方法** 中国吉林省の一大学病院を対象に、2000年から2004年までの幹部病棟および2004年の一般病棟の退院記録データをもとに高齢患者の動向を把握した。さらに、2005年8月に幹部病棟入院中の患者100人（回収率91%）を対象に、退院に向けてのニーズ等に関する質問紙調査（一部面接を伴う）を実施した。

**結果** 幹部病棟の平均在院日数は2000年から2004年にかけて半減したが、一般病棟と比較すれば長かった。重回帰分析の結果、幹部病棟への入院、通算入院回数が多いこと、高齢者および男性患者が在院日数の長期化に寄与していた。幹部病棟に限れば頻回入院の影響が圧倒的であった。質問紙調査の結果、退院できる条件を有しながらも、その後の介護、福祉サービスの遅れと適切な情報の不足のために退院できない患者が多いと考えられた。

**結論** 幹部病棟高齢患者の在院日数長期化の背景には医療制度（優遇策）が影響していると思われるが、適切な退院計画と退院後の地域サポートシステムを充実させることも重要であると考えられた。今回の調査結果は中国の幹部病棟入院中の高齢患者の問題を考えていく上で有益な情報になると言える。

**Key words** : 中国の高齢患者, 幹部病棟, 在院日数, 医療記録, 退院計画

\* 石川県立看護大学（勤務先：中国吉林省長春市吉林大学第一病院）

<sup>2\*</sup> 石川県立看護大学  
連絡先：〒929-1212 石川県かほく市中沼ツ7番1  
石川県立看護大学 大木秀一